

平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

団 体 名	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク	
施 設 名	杉並区立杉並芸術会館「座・高円寺」	
助成対象活動名	公演事業・人材育成事業・普及啓発事業	
内定額（総額）	24,137	(千円)
公 演 事 業	18,490	(千円)
人 材 養 成 事 業	1,427	(千円)
普 及 啓 発 事 業	4,220	(千円)

(2) 平成30年度実施事業一覧

【公演事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、 スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	世界をみよう!	2018年7月14日～29日	『ピン・ポン』(日本)『ナイト・ライト』(デンマーク)『エレクトロニックな夢』(フランス)『マラソン』(フランス)	目標値	1,300
		座・高円寺、他		実績値	1,572
2	劇場へいこう!	2018年9月1日～10月4日	『ピノッキオ』(カルロ・コッローディ原作)『フランドン農学校の子豚～注文の多い「オマケ付き」』(宮沢賢治原作)	目標値	5,000
		座・高円寺、他		実績値	5,464
3	One Table Two Chairs Meeting	2018年10月26日～28日	『One Table Two Chairs Meeting』(演出:佐藤信、ダニー・ユン、リュウ・シャオイ)	目標値	250
		座・高円寺		実績値	319
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	6,550
				実績値	7,355

(2) 平成30年度実施事業一覧

【人材養成事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、 スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	座・高円寺ダンスアワード	2019年1月11日～13日	座・高円寺ダンスアワード（アーティストティック・ディレクター竹屋啓子）	目標値	200
		座・高円寺		実績値	230
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	200
				実績値	230

(2) 平成30年度実施事業一覧

【普及啓発事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、 スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	遊ぼうよ!	2018年4月～2019年3月	「みんなのリトル高円寺」「マントでへんしん!トリドリパレード」「絵本の旅@カフェ」「みんなの作業場」	目標値	4,300
		座・高円寺		実績値	4,613
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	4,300
				実績値	4,613

## 【妥当性】

### 自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

#### 助成対象事業

公演事業：「世界をみよう！」「劇場へいこう！」「One Table Two Chairs Meeting」

人材育成事業：「座・高円寺ダンスアワード」

普及啓発事業：「遊ぼうよ！」

杉並区立杉並芸術館「座・高円寺」は、「杉並区基本構想」で掲げるビジョンのうち、1) 地域における多様なつながりの中で心豊かで自立心を持った「次代を担う人」を育むまちを築く 2) 地域の特性を活かし、将来を見据えた産業の振興や経済活動の活性化 3) 誰もが文化・芸術や生涯学習・スポーツに親しむことのできる環境の整備 4) 文化芸術の振興を図るとともに、多様な文化が共存・発展する共生社会を築く の4点に基づき、人のにぎわいの絶えない「暮らしとともにある劇場」として、1) 舞台芸術をつくる 2) 観客とつながる 3) 町とつながる 4) 人とつながる の4つを施策とし、舞台芸術を中心に据えた事業を展開しています。

「要望書」及び「実績報告書」に記載している通り、当該事業は、それぞれ上記の施策に基づき、適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業を進めることができました。特に齟齬が生じた箇所はありません。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

#### 助成対象事業

公演事業：「世界をみよう！」「劇場へいこう！」「One Table Two Chairs Meeting」

人材育成事業：「座・高円寺ダンスアワード」

普及啓発事業：「遊ぼうよ！」

「実績報告書」に記載している通り、「世界をみよう！」では、未就学の子どもを持つ家庭が親子で一緒に舞台作品をみる機会の提供、「劇場へいこう！」では、子どもとおとなが一緒に楽しめる質の高い舞台作品の創造及び鑑賞の機会の提供と小学校4年生全員が鑑賞する機会の提供、「One Table two Chairs Meeting」では、国籍・ジャンル・伝統と現代・世代といった文化的な差異の壁を越えた創作の場の提供、「座・高円寺ダンスアワード」では、大学の教育現場と創作の現場をつなぐ仕組みづくりと大学生への地域格差のない創作の場の提供、「遊ぼうよ！」では、地域の子どもたちが年齢や学校を超えて交流し創造力をはぐくむ場の提供、を行い、劇場が、学校と家庭と地域をつなぐ役割を年間を通して果たしており、助成に値する文化的、社会的、経済的意義を継続して認めることができると考えます。

## 【有効性】

### 自己評価

目標を達成したか。

#### 助成対象事業

公演事業：「世界をみよう！」「劇場へいこう！」「One Table Two Chairs Meeting」

人材育成事業：「座・高円寺」ダンスアワード」

普及啓発事業：「遊ぼうよ！」

「実績報告書」の「目標及び指標」に記載してある目標について、定数と定量に分けて分析してみると、定数目標として掲げた全8項目のうち、「達成した」4項目（50%）、「もう一息」3項目（37.5%）、「達成しなかった」1項目（12.5%）、定量目標として掲げた全14項目のうち、「達成した」11項目（79%）、「もう一息」2項目（14%）、「達成しなかった」1項目（7%）で、全体的には、概ね目標を達成したと考えます。

## 【効率性】

### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。  
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

#### 助成対象事業

公演事業：「世界をみよう！」「劇場へいこう！」「One Table Two Chairs Meeting」

人材育成事業：「座・高円寺ダンスアワード」

普及啓発事業：「遊ぼうよ！」

#### 1) 事業期間について

上記の全ての事業において、交付申請時より事業期間の変更はなく、計画通りに進みました。また、事業期間は、事業の内容や規模と照らし合わせて、適切であったと考えます。

#### 2) 事業費について

助成対象事業費の変更率は、「実績報告書」にある通り、公演事業-10%、人材育成事業-0.7%。普及啓発事業-1.1%で、概ね計画通りに進んだと考えます。公演事業における-10%の主な要因は、舞台費が予定より削減できたことに因ります。

## 【創造性】

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

#### 助成対象事業

公演事業：「世界をみよう！」「劇場へいこう！」「One Table Two Chairs Meeting」

人材育成事業：「座・高円寺ダンスアワード」

普及啓発事業：「遊ぼうよ！」

#### 機能1) 建物設備

事業ごとにその事業に相応しい舞台と客席の関係を検討し、演目によって舞台と客席形状を自由に変えることができ、創り手と観客、双方の想像力をかきたて豊かな時間を創出する「座・高円寺1」の特色を十分に生かした事業を行うことができました。

また、「世界をみよう！」では、観客と親密な空間が必要となる乳幼児を対象とした演目において、舞台のある広い空間ではなく、けいこ場や平土間の空間（阿波おどりホール）を利用するなど、建物全体の機能を活用できました。

#### 機能2) 劇場スタッフ

芸術監督が質的責任、技術監督が技術的な責任、館長が経済的責任をとる体制のもと、制作・広報・技術の各分野の専門スタッフが緊密な連携を取りながら最大限の能力を発揮し、アーティストと来場者に対して誠実に事業を行うことで、事業を円滑に運営することができました。

#### 機能3) 協力団体

「実績報告書」に記載している通り、設置者である杉並区や杉並区教育委員会、杉並区交流協会をはじめ、地域の団体（高円寺商店街連合会、他）、近隣の子ども関係の団体（新宿こども劇場、目黒子ども劇場、他）や、学校（保育園、幼稚園、子供園、小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校）、地方の劇場（茅野市民館、茅ヶ崎市民文化会館、他）や、海外の団体（アンステイチュ・フランセ、国立台湾戯曲学院、香港ズニ・イコサヘドロン、韓国芸術総合学校、イタリア文化会館、他）などさまざまな分野の団体から、事業の周知、経済的支援、間接的支援など多大な協力をいただき、多くの地域のみなさんに足を運んでもらうことができました。



## 【創造性】

### 自己評価

地域の実演芸術の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

「劇場へいこう！」では、子どもとおとなと一緒に楽しめる質の高い舞台作品の創造（『ピノッキオ』『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き』）及び鑑賞の機会の提供と、小学校4年生全員が鑑賞する機会の提供を行いました。「実績報告書」に記載している通り、観客からは「おとなにも子どもにも素晴らしい作品、生きることの痛みを感じる芝居でした」「舞台のストーリーのなかにとってもアートを感じ、今まで観てきたことのない世界観に圧倒されました！子どもたちに素晴らしい体験を頂いて感謝しています」「子どもが劇を見てとても感動して楽しかったことやお話の内容を話してくれ、私も主人も見たくなり今回は三人で足を運びました。楽しく、考えさせられる内容でした。今後もまた見に来たいと思いました」「とてもリーズナブルで、人にすすめたくなる舞台でした」といった感想が寄せられ、作品の質の高さと、それを通じて子どもたちとたくさんのお会いと感動を分かち合うことができました。また、小学校4年生の団体鑑賞においては、引率の先生向けの資料を作成し事前に配布したり、鑑賞の後には子どもたちから感想を聞いたり質問に答えたりする交流会、舞台の裏側を体験するバックステージ見学、出演者やスタッフが学校へ出向き子どもたちとワークショップを行うなど、鑑賞前から鑑賞後にかけて、先生方と細やかな連携をとることによって、劇場での観劇体験をより濃密なものとする工夫を重ねました。先生からは「劇場で本格的な演劇を鑑賞する機会が4年生にあること、ありがたく思いました」「子どもたちにとって本物の舞台に触れる機会があるのは、とても価値のあるものだと思う」「演劇鑑賞もさることながら、その学校に来ていただいたのワークショップがとてもよかったです。舞台の上の方と並んで教わったことは、とても素晴らしい体験になりました」といった意見が寄せられ、地道な活動ながらも地域の文化芸術の発展につながる取り組みと考えます。尚、『ピノッキオ』は、平成30年度児童福祉文化賞推薦作品（舞台芸術部門）に選定されました。

## 【持続性】

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

#### 助成対象事業

公演事業：「世界をみよう！」「劇場へいこう！」「One Table Two Chairs Meeting」

人材育成事業：「座・高円寺ダンスアワード」

普及啓発事業：「遊ぼうよ！」

#### 1) 国内の劇場・音楽堂とのネットワークの形成

茅ヶ崎文化会館（神奈川）、茅野市民館（長野）、宮崎県立劇場（宮崎）、いわき芸術交流館アリオス（福島）、おおぶ文化交流の杜こもれびホール（愛知）、幸田町民会館（愛知）などと連携して事業をさらに拡大することができました。今後も他地域の劇場・音楽堂との連携を深めていきたいと考えます。

#### 2) 教育機関とのネットワークの形成

「実績報告書」に記載している通り、各事業を通じて、保育園から大学まで、さまざまな教育と連携を図ることができました。教育機関との持続的な連携は不可欠だと考えます。

#### 3) 人材の育成

座・高円寺では、2年制の養成機関「劇場創造アカデミー」を通して、専門的知識を身につけるとともに、広く公共に向けて力を発揮できる人材の育成を行っています。当該事業では「劇場創造アカデミー」の現役生をインターンとして活用、また、修了生をスタッフとして雇用するなど、彼らに経験の場を提供することで、組織の活動が継続するための基盤づくりを行っています。

#### 4) 財源確保の取り組み

事業内容の充実と安定的な運営のため、全体の約三分之一を占める指定管理料に加え、地方公演の実施、助成金、補助金、協賛金（公、民、団体、個人）の獲得に努めました。今後の劇場の活性化と地域コミュニティの継続的な発展は、ひいては全体への発展と活力へとつながるのであり、財源確保の自助努力に加え、国からの継続的な支援が必要だと考えます。